

新型コロナウイルス感染拡大防止のための 市主催イベント等の開催の判断について

令和2年4月1日の新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」（2020年4月1日）においては、これまでの対応について以下のような課題があったとしている。

- ・ 集団感染が確認された場に共通する「3つの密」を避ける必要性についての専門家会議のメッセージが十分に届いていなかったと考えられること
- ・ 「コロナ疲れ」、「自粛疲れ」とも言える状況が見られ、一部の市民の間で警戒感が予想以上に緩んでしまったこと
- ・ 国民の行動変容や健康管理に当たって、アプリなど SNS を活用した効率的かつ双方向の取組が十分には進んでいないこと

そのうえで、前回の提言（2020年3月19日付）と同様に全国を3つの地域（「感染拡大警戒地域」、「感染確認地域」、「感染未確認地域」）に区分し、地域の状況に応じた対応や行動変容をより一層強めることの必要性等について、改めて専門家会議としての見解が示された。

※「3つの密」とは、①換気の悪い密閉空間、②人が密集している、③近距離で密接して会話や発声が行われることを指す。

4月1日現在、市内における感染は確認されていないが、県内においてすでに5例の感染が確認されていること、隣接する諫早市、長与町でも感染が確認されていることを踏まえると、本市は3つの地域区分のうち「感染確認地域」に入ると思われる。

専門家会議の提言では、「感染確認地域」において想定される対応として次のような内容が示されている。

- ・ 人の集まるイベントや「3つの密」を徹底的に回避する対策をしたうえで、感染拡大のリスクの低い活動については、実施する。
- ・ 具体的には、屋内で50人以上が集まる集会・イベントへの参加は控える。
- ・ 一定程度に収まっているように見えても、感染拡大の兆しが見られた場合には、感染拡大のリスクの低い活動も含めて対応を更に検討していくことが求められる。

このような状況を勘案し、市主催のイベント等については、感染拡大のリスクの低い活動については「3つの密」を避ける対策及び感染症対策をしっかりとることを条件に開催可能とする。

ただし、入学・就職・転勤・帰省などで県域・市域を越えて人の往来が多くなる時期であること、専門家会議においても屋内で50人以上が集まる集会・イベントへの参加は控えるよう提言されたことを踏まえ、本市としても屋内で50人以上が集まるイベント等については4月28日まで開催を見合わせることにする。

なお、状況に応じて対応を素早く変更し引き締めを図ることが必要であり、県内で新たな患者が発生した場合及び国・県から新たな考え方が示された場合等は、必要に応じて方針を変更することとする。

また、学校行事については、別途各学校と教育委員会が協議して判断することとする。

●対象イベント等

- ・市主催
- ・市が関与している実行委員会形式によるもの
(市主催のイベントの方針を踏まえて実行委員会において決定する)
- ・共催事業については、市主催イベントの方針を踏まえて共催者と協議のうえ決定する。

●開催する場合、「3つの密」を回避するための対策及び感染症対策をしっかりとること

- ・会場のこまめな換気
- ・人が密集しない工夫
- ・近距離での会話、発声を伴わない内容
- ・風邪の症状がある方や、体調が優れない方の参加を控えていただく
- ・咳エチケット・頻繁な手洗いの励行、手指用アルコール消毒薬の設置等の徹底

「新型コロナウイルス感染症対策の状況分析・提言」(2020年3月19日)の「別添」を参考とする。